

令和5年度第1回戸田市都市景観審議会 報告案件に関する質問及び回答

(1)公共サインガイドライン(案)の作成について

質問	回答
<p>全国的に普及しているデジタルサイネージは言及されている箇所等あるでしょうか。公共サインとして今後又は現状においてデジタルサイネージのニーズがなければ言及がなくても良いかもしれませんが。</p>	<p>デジタルサイネージに関しては、費用対効果を検討した際に設置が難しいと判断した経緯があり、市として屋外に設置した事例はありません。したがって、現時点では記載を最小限に留める予定ですが、ニーズの有無を含め、今後検討してまいります。</p>
<p>ガイドラインの作成は有意義であるとする。「わかりやすい」ことは重要であるが、整備担当者が求める「わかりやすさ」がどのようなものであるかも事前に整理する必要がある。また、マニュアル化することで統一感はあるが、戸田市らしさ、地区らしさを考慮しながら整備していくプロセスの重要性が軽んじられないよう「景観整備」の意義についても触れておく必要があると考える。これらの点についてのビジョンをうかがいたい。</p>	<p>・「わかりやすさ」について 例えば、整備の際の設置位置の考え方、整備後の維持管理の流れなど、担当者が事務を行う中で疑問に思う部分について、考え方の参考になるような手引き書として内容を検討しております。</p> <p>・「景観整備」の意義について 公共サイン自体が、単に情報を伝えるだけでなく、景観整備の一環であるという観点は重要だと考えております。そのため、本ガイドラインでは、見る人にとって分かりやすかつ周囲と調和した「標準デザイン」を示し統一化を図る一方で、実際の設計の際には、地域の景観特性・設置場所等を整備担当者が個別検討する必要性についても併せて記載します。</p>

(2)戸田市都市景観条例に基づく事前協議の実績報告等について

質問	回答
<p>助言内容の反映率は年々上がっていますが、反映されにくいトピックや助言内容がどのようなものか、一覧できますか？ 今後の制度実行や助言方法の改善に役立てたらと思います。</p>	<p>昨年度(令和4年度)1年間の主な項目別の助言反映率は下記の通りとなっております。 協議時期の関係もあり、外構計画などの配置の変更を伴うような変更は採用されにくい傾向にあります。 また、サイン計画については、協議時には未定の場合が多く、協議時の想定からサイン計画自体が大きく変更されるケースもあり、反映率が低い傾向にあります。</p> <p><項目別助言反映率> (反映数/助言数)</p> <p>色彩計画(外壁や工作物の色彩など) : 44.3%(74/167) 緑化計画(樹木の配置、樹種など) : 40.9%(27/66) 外構計画(駐輪場やゴミ置き場など) : 25.8%(16/62) サイン計画(館名、壁面サインなど) : 13.9%(5/36) 照明計画(照明器具や色温度など) : 40.9%(8/21)</p>

(3)埼玉広告景観タウンミーティングの開催について

質問	回答
<p>屋外広告物の安全点検について、具体的に器具を紹介しながら解説できてとても参考になったことと存じます。 出席者側から、点検やメンテについて、費用や技術面から難しい実情を訴える方はいらっしゃいましたか？ 取り外しや交換が難しく(高価)放置されている場合もあるかと存じます。特殊なケースがあったら素直に相談があると良いのですが。</p>	<p>来場者の多くが行政関係者もしくは広告業者ということもあり、そうした意見はありませんでした。なお、窓口等においても、特殊なケースの相談は今のところあまりありませんが、本市HPにおいて「オーナーさんのための看板の安全管理ガイドブック」(発行元：屋外広告物適正化推進委員会)を周知しており、こうした資料を用いた相談対応を行っております。</p>
<p>このようなタウンミーティングは定期的で開催されているのでしょうか？ 丁度昨日も他市で屋外広告物条例の見直しの話があり、安全面の重要性や事務手続きの簡素化の話が出ていたので、興味深く内容を拝見しました。</p>	<p>本タウンミーティングは埼玉県及び埼玉県屋外広告業協同組合が各回異なる自治体と共催する形式となっております。次回開催市や日程等については、まだ未定と伺っております。</p>
<p>戸田市では埼玉協に入会していない広告業者が多いと聞いています。できれば埼玉協以外の業者にも声をかけるべきだと思いますがいかがですか？</p>	<p>今回の開催にあたっては、県内自治体への周知、埼玉県屋外広告業協同組合、戸田市商工会を通じた参加者の募集を行いました。次回以降の開催の際には、未加入業者への周知方法も含め、検討いたします。</p>